

※展覧会の名称は変更する場合があります。

開館20周年記念展Ⅱ 細見コレクションの江戸絵画

琳派展20 抱一の花・其一の鳥

平成30年 3月3日(土)－4月15日(日)

細見美術館

開館20周年記念展Ⅱ 細見コレクションの江戸絵画

琳派展20 抱一の花・其一の鳥

平成30年 3月3日(土)
—4月15日(日)

細見美術館

〒606-8342
京都市左京区岡崎最勝寺町6-3
TEL 075-752-5555・FAX 075-752-5955
<http://www.emuseum.or.jp>

開館20周年記念展

京都・岡崎の地に開館して20年。平成10年(1998)以来、細見美術館は日本美術の魅力を多角的に発信し続けてきました。なかでも「若冲」と「江戸琳派」は多くの方に熱いご支持をいただき、今や細見コレクション、ひいては日本美術を象徴するジャンルに昇華したといえましょう。

開館20周年を記念するこのたびの展覧会では、美術館とともに歩んできた彼らの作品を続けてご覧いただき、江戸時代絵画の

豊潤な世界を改めてお伝えしたいと思います。

皆様に感謝を込めて、
細見美術館が贈る美の
祝宴をお楽しみください。



琳派美術館 細見で堪能する江戸琳派

細見コレクションの江戸絵画

琳派展20 抱一の花・其一の鳥

平成30年 3月3日(土) — 4月15日(日)

19世紀前期に江戸で花開いた江戸琳派。酒井抱一(1761~1828)、鈴木其一(1796~1858)らが、京都で育まれた琳派様式を江戸風にアレンジし、大名から庶民まで、多くの人々を魅了しました。

細見コレクションでは早くから江戸琳派に注目、抱一・其一の代表作をはじめ、ほぼ全ての画家を網羅しています。江戸琳派の優美にして瀟洒な花鳥画を一堂に展示し、今日もなお愛される作風の全容に迫ります。



酒井抱一 桜に小禽図



鈴木其一 朴に尾長鳥図



鈴木其一 藤花図

入館料：一般 1,300円(1,200円)
学生 1,000円(900円)
※()内は20名様以上の団体料金

休館日：毎週月曜日

開館時間：午前10時~午後6時
(入館は、午後5時30分まで)

会場：細見美術館

20th Special Exhibition in Celebration of the
Anniversary of the Hosomi Museum